

令和6年度

福井小学校

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 学習規律の確立による、児童の学習意欲・教師の指導力向上
- 家庭と連携した自主学習・読書の充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 片山 トシエ	委員
	学校長 吉積 清 教頭 笹川 亨
	低学年推進員 片山 トシエ 中学年推進員 三間 由美 高学年推進員 粟田 佐知

校長

吉積 清

【各校の取組状況の把握について】

授業研究会を中心に教員が相互に授業参観・授業研究をし合い、アドバイス合って取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字・計算など基本的な知識の定着に成果がある。 ○与えられた課題に真面目に取り組む学習できる児童が多い。 ●学習に集中できない児童がいる。 ●学力の定着、またその活用が十分でない児童がいる。 ●語彙数が少なく、条件を満たして記述したり文を書いたりすることが苦手な児童がいる。 ●長文を読み取る力が弱い。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付ける。 ・学習の過程で身に付けた知識を、既習の知識と関連付けたり他の学習や生活に生かしたりすることができる。 ・豊富な語彙で書く・話すことができる。	・漢字や計算の小テスト、視写・コグトレ・ドリルパーク学習など、学習の基礎的なトレーニングを継続し、学習意欲を高め集中力を持続できるようにする。 ・タブレットを活用して、一人一人に対応した課題を配信し、知識技能の定着を図る。 ・読み聞かせや範読、毎日の日記指導などに継続的に取り組むことで、読むこと・書くことの基礎力を向上させる。 ・音読カードを活用して継続的な音読指導に取り組んだり、週末読書を推進して読む力を向上させたりする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○方法や手順がはっきりと分かる学習では、見通しをもち意欲的に課題に取り組むことができる。 ○タブレットの活用に慣れ、自分の考えをまとめたり、友達と意見の交流をしながら学習を進めることができつつある。 ●問題の要点をつかんだり、複数の情報の中から必要な情報を選択したりすることが苦手な児童がいる。 ●自分の思いや考えを、要点をまとめて伝える力が弱い児童もいる。	・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えを見直したり、膨らませたりする。 ・自分の考えの根拠を明らかにして、条件に沿って書くこと・話すことができる。 ・自ら課題を見出し、その解決に向けた方向性を考え、他者と協力し、必要な過程を計画・実行しながら解決まで導くことができる。	・考え方の手立て例や話し方のパターンなどを用い、課題に応じた考えること・書くこと・話すことに一人一人が慣れていけるようにする。 ・学習内容に応じて、ペア学習やグループ学習など学習形態を工夫し、思考を深められるようにする。 ・授業中だけでなく、朝や帰りの会、全校朝会など様々な学習活動の中で、自分の考えを書いたり話したりする機会を設ける。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習の事前準備を整え、チャイムの合図に合わせて学習に向かうことが定着しつつある。 ○体験的な学習を好み、積極的に活動する。 ○朝の学習(チャレンジタイム)や読書の習慣が定着しており、与えられた課題には前向きに取り組む。 ●自ら進んで主体的に課題に取り組むことができにくい児童がいる。 ●自ら課題を見つけたり、難しい問題に粘り強く取り組んだりすることができない児童、集中して学習するために支援が必要な児童がいる。 ●家庭学習に丁寧に取り組めなかったり、家庭読書の時間が短かかったりする児童がいる。	・課題解決の経験を通して、分かる楽しさやできる楽しさを体感し、学習に対し自信や意欲をもつことができる。 ・学習に粘り強く取り組むとともに、自らの活動を振り返って学習の成果や課題を今後の生活や学習につなげることができる。 ・自主学習に励み、自分のできていないところに気づき、復習し、学力の向上に自主的に取り組むことができる。	・意欲的に学習に取り組めるような導入や課題づくりの工夫・改善を行う。 ・児童の思考の流れに沿った授業展開や教材・教具の工夫をする。 ・学習内容を振り返りやすい、ノートに合わせた板書の工夫をする。 ・「家庭学習の手引き」「自主学習の進め方」を活用したり手本となる自主ノートを掲示したりして、自主学習への意欲が持続できるようにする。 ・家庭と連携しながら、ノーメディアデーを推進し、家庭読書の時間を確保する。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

